

【報道関係各位】

【速報】景気は緩やかに回復か？

～一般消費者の消費実態や意識を定点観測調査データから分析～

- 2014年の年末年始の個人消費金額は、前年より約2,800円増加
- 「今後2～3ヶ月先の身の回りの景気」は、年末から下降傾向に
- 景気回復に対する期待感、20代がもっとも高く

2014年1月29日

株式会社マクロミル

(証券コード：東証一部 3730)

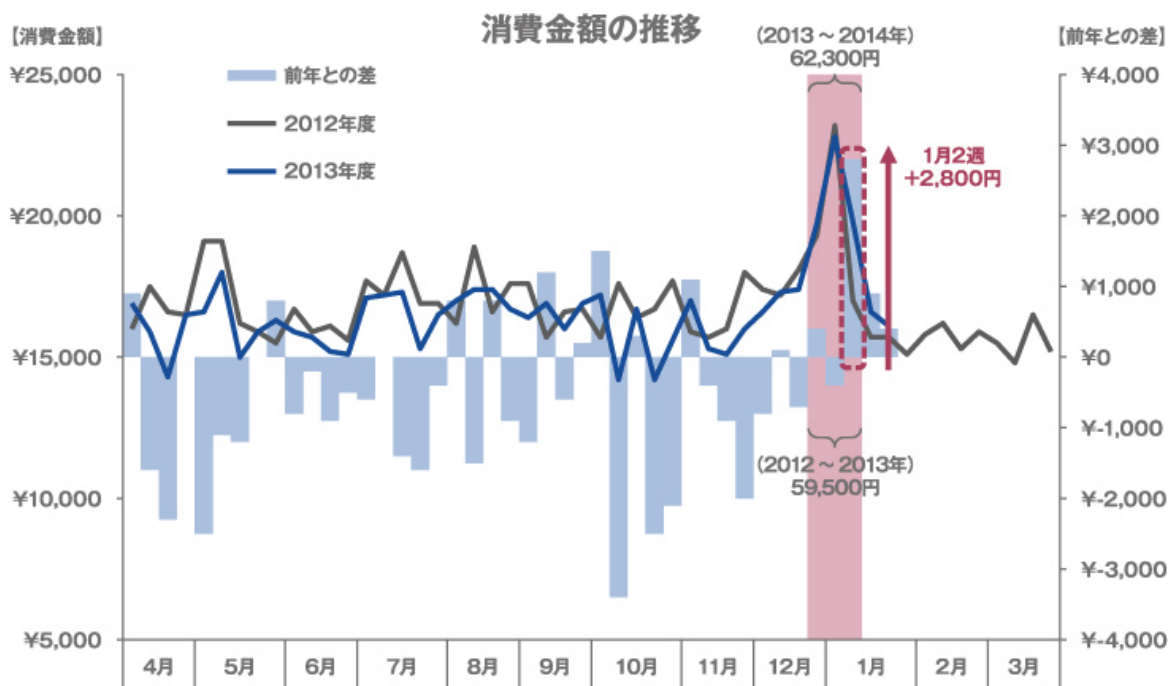
株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：杉本哲哉、以下「マクロミル」）は、2013～2014年にかけての年末年始の全国の一般消費者の消費について、毎週定点で観測しているMACROMILL WEEKLY INDEX（マクロミル定点観測調査）のデータから分析しました。調査手法はインターネットリサーチ。有効回答数は1,000名。

1月17日、政府は1月の月例経済報告で景気の基調判断を4カ月ぶりに上方修正しました。景気の基調判断は昨年9～12月までは「緩やかに回復しつつある」としていましたが、1月は「緩やかに回復している」と表現を明確にしました。では実際に、一般消費者の意識や実態、消費行動に変化は見られたのでしょうか？

< 調査結果 >

【1】2014年の年末年始の個人消費金額は、前年より約2,800円増加

例年、年末年始は消費者の消費金額が年間を通じて最も高くなります。その年末年始（12月最終週～1月2週までの3週間）の個人消費金額について前年と比較すると、前年は59,500円、今年は62,300円で約2,800円増加したことがわかりました。



【2】「今後2～3ヶ月先の身の回りの景気」は、年末から下降傾向に

“今後2～3ヶ月先の景況感指数(※)”の動向について見てみると、消費増税が発表された10月初旬に大きく下降した後ゆっくりと回復基調にありましたが、2014年の年明け後は再び下降に転じています。

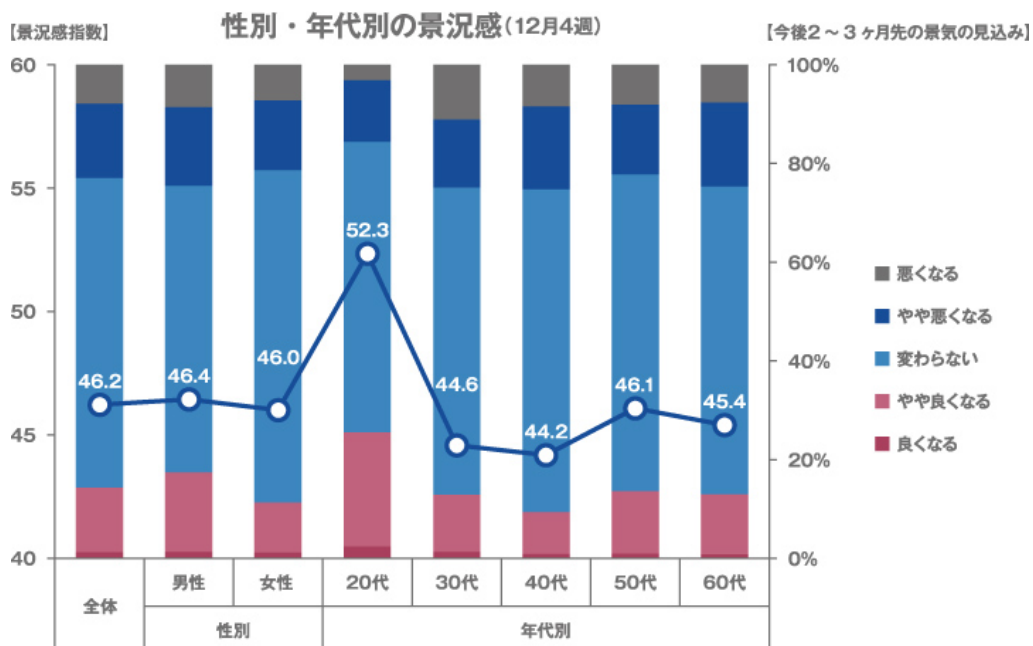
【1】で明らかになったように、消費金額は前年よりも好調であるにもかかわらず、今後2～3ヶ月先の身の回りの景気については年始から下降傾向であり、3ヶ月先にひかえている消費税増税への“不安”がうかがえます。

(※今後2～3ヶ月先の景況感指数・・・今後2～3か月先の身の回りの景気が「良くなる(100)/やや良くなる(75)/変わらない(50)/やや悪くなる(25)/悪くなる(0)」と点数を与えたときの平均値。)



【3】景気回復に対する期待感、20代がもっとも高く

12月最終週の“今後2～3ヶ月先の景況感指数”を年代別に比較しました。20代は他の年代に比べて景気に対する期待感が強いことが分かりました。



※ 本リリースの分析は速報です。

詳細分析レポートは、2014年2月にMACROMILL WEEKLY INDEXのサイト
(<http://www.macromill.com/weeklyindex/index.html>) で公開予定です。

【調査概要】MACROMILL WEEKLY INDEX（マクロミル定点観測調査）

- ・調査方法 : インターネットリサーチ
- ・調査対象 : 全国、20～69歳の男女1,000サンプル（マクロミルモニタ会員）
- ・割付方法 : 平成22年国勢調査による、エリア×性別×年代別の人口動態割付
- ・実施日時 : 毎週水曜日実施
- ・調査機関 : マクロミル
- ・サイトURL : <http://www.macromill.com/weeklyindex/index.html>

(※Twitterで更新情報を配信しています / @macromill_mwi)



－ 本件に関するお問い合わせ先 －

株式会社マクロミル 広報室：度会（わたらい）

TEL：03-6716-0707 MAIL: press@macromill.com

URL： <http://www.macromill.com/>